

ようじえんだより 2020年度8月号

十日町幼稚園 〒948-0083 十日町市本町西1丁目253番地
Tel:025-752-2068 Fax:025-752-2189

8月主題『ゆったりと』

主題聖句：主はすぐ近くにおられます。 フィリピの信徒への手紙4章5節

- ☆ 0歳児：神さまやまわりの人にまもられ、愛されていることを感じる。家族や保育者とゆったり過ごす。自分の思いを保育者に言葉にしてもらい、満たされる。
- ☆ 1～2歳児：神さまやまわりの人にまもられ、愛されていることを感じる。夏の生活を家族とゆったりと健康に過ごす。自分の思いを言葉にして伝えようとする。
- ☆ 3歳児：動の時も静の時も、いつでも神さまが見守ってくださることを知る。暑い夏を健康に過ごす。のびのびと夏の遊びを楽しむ。
- ☆ 4～5歳児：神さまがくださった平和を考え、ともに祈る。ゆったりとした時間を過ごす中で新しい遊びを見つけたり発見したりする。躍動の時も静(休息)の時も安心して過ごす。

ゆったり？な夏

この夏は新型コロナウイルスのために、多くの人が予定が立たないのではないのでしょうか。私が会長を務めている「原水爆禁止十日町市協議会」では毎年市内の中学生を被爆地広島に派遣しているのですが、今年度は派遣事業そのものが中止となりました。私たち家族も毎年恒例の帰省をあきらめ、十日町でゆったり？過ごす夏となりそうです。

ゆったり過ごすコツ

家での巣籠り生活は苦になる人とそうでない人がいるようです。そんな中、家族間で様々な軋轢(あつれき)が起こっていることも聞きます。どの家庭でも平和に過ごすコツのようなものがあると思いますが、家族みんながゆったりと過ごすためには、家族の要になる人(つまり一番強い人)が指示・命令・禁止系の言葉を極力発しないことが肝心です。一番影響力のある人の指示・命令・禁止系の言葉は、ここぞという時にとっておいたほうが効果があります。幼児教育の専門的見地からいうと、指示・命令・禁止系の

言葉が多く発せられる環境では子どもの自主性・自発性・協同性(友達と関わる中で、互いの思いや考えなどを共有し、共通の目的の実現に向けて、考えたり、工夫したり、協力したり、充実感をもってやり遂げるようになる力)が育ちにくくなるのがわかっています。貴重な体験をする時間は少なくとも、ゆったりのんびり過ごすだけでも子どもにとっては幸せだったりするものです。

一緒に過ごせる時間は長くない

子どもはあっという間に大きくなります。「ママ」「パパ」と言ってそばに寄ってきてくれる時はいつまでも続きません。この夏に帰省しないことで実家の両親が珍しく寂しそうです。仕方がないこととはいえ、18歳以降一緒に住むこともなく、年に一度しか会えない仲です。私の両親も「子どもと(孫と)一緒に過ごせる時間は長くない」ことを今は実感しているのだと思います。コロナ禍の非常時ですが、だからこそ、一緒にゆったりのんびりできる夏をお過ごしください。

園長:久保田愛策

年間主題『こころが満たされる』

主題聖句：喜びと平和とであなたがたを満たす
新約聖書 ローマの信徒への手紙15章13節